

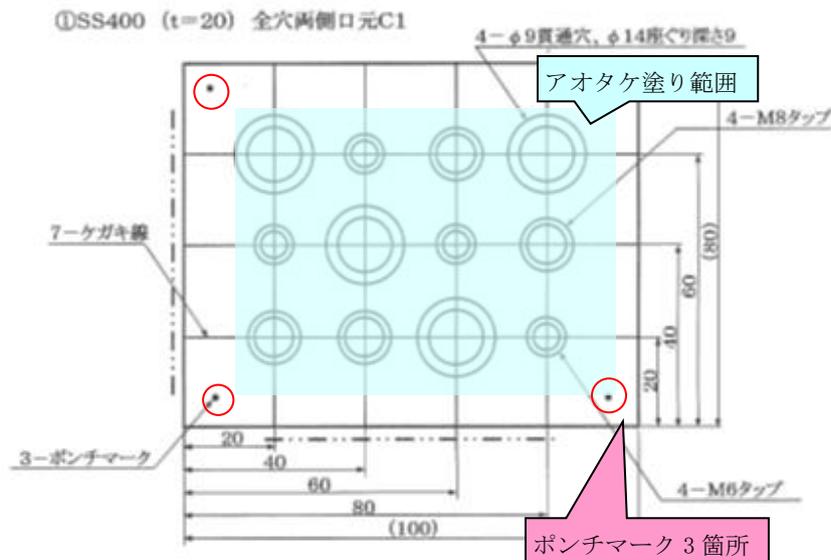
2. アオタケ塗り

準備項目：用具

- ・アオタケ（容器入り：4本）
- ・ウェス：4～5枚

1) アオタケの準備

- (1) アオタケ（容器入り）を用意する。
- (2) 指導説明中はアオタケ容器のフタ（キャップ）は取らない。 ※ 液漏れの可能性有。



2) 作業の指導・説明

- (1) 作業の指導説明項目。
 - ※ ケガキ線をハッキリ見易くする。
 - ※ ポンチ打ち位置（ケガキ線交点）も見易くする。
- (2) 作業着に付着すると取れない。
- (3) 手への付着も取れにくい。

3) 塗布作業

- (1) 塗布範囲を指示する
 - ※ 基準面（ポンチマーク面）に全周 10 mm 空けて内側を塗り潰す。
- (2) 液の出すぎに要注意 ⇒ ポタポタと垂れてしまい、付着し汚す原因となる。
- (3) 材料 1 個を左手に持ち、基準面（塗布面）を下に向ける。
- (4) キャップを取ったアオタケ容器を右手に持ち、下に向けたままの材料に当てる。



ケガキ線を入れる前にアオタケを塗る

- (5) アオタケ液が出て付く様ならそのまま塗り進める。
(6) アオタケが出ない様なら、徐々に当てたままで塗布面を起こして仰向けにする。
(7) 刷毛部から染み出てくるので、出過ぎるようなら下向きに戻しながら塗り進める。

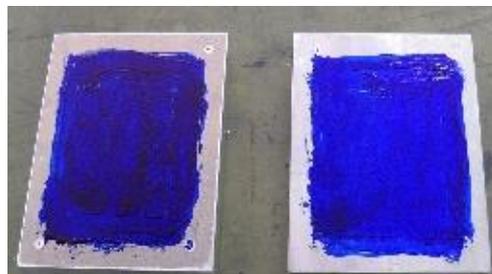
※ 仰向けでも染み出ない様なら容器交換し、再度実行する。

※ 塗り進めるとき、材料の淵まで延ばさないように注意。淵から滴り落ち、周囲を汚す。

- (8) 鉄材・アルミ材の2種類を塗る。

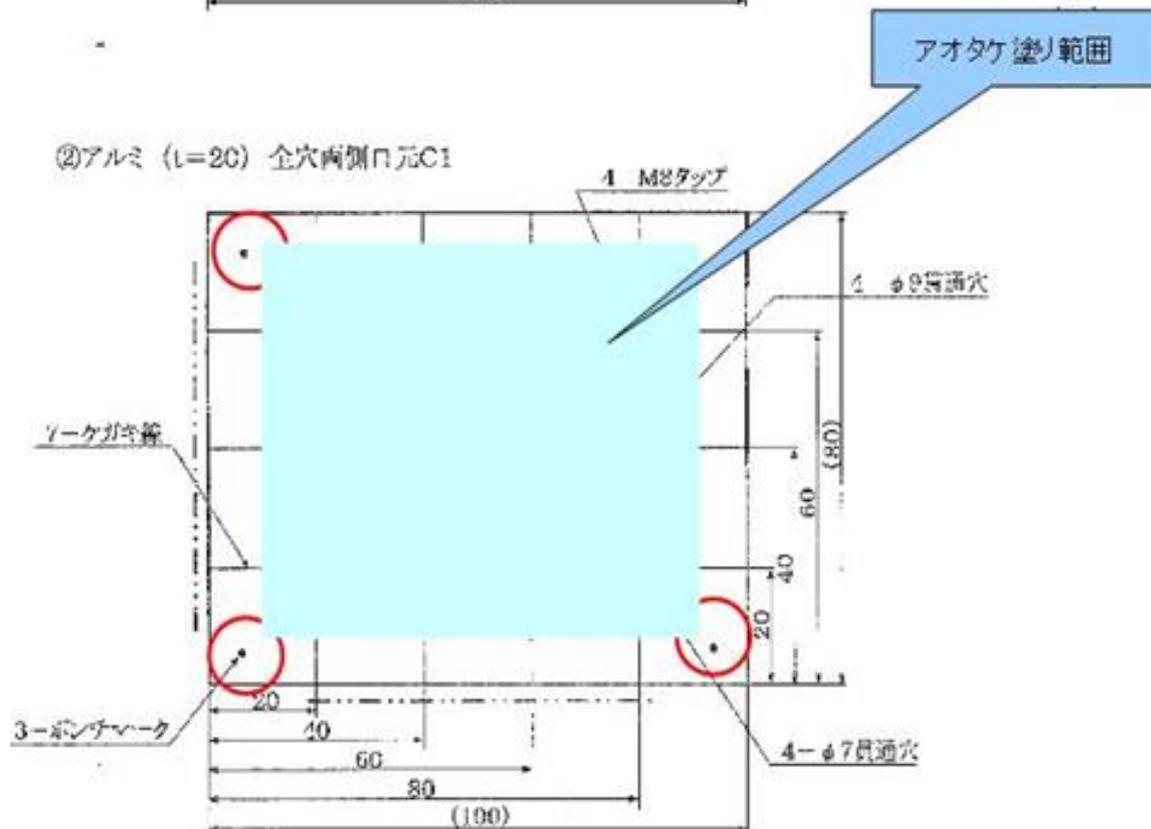
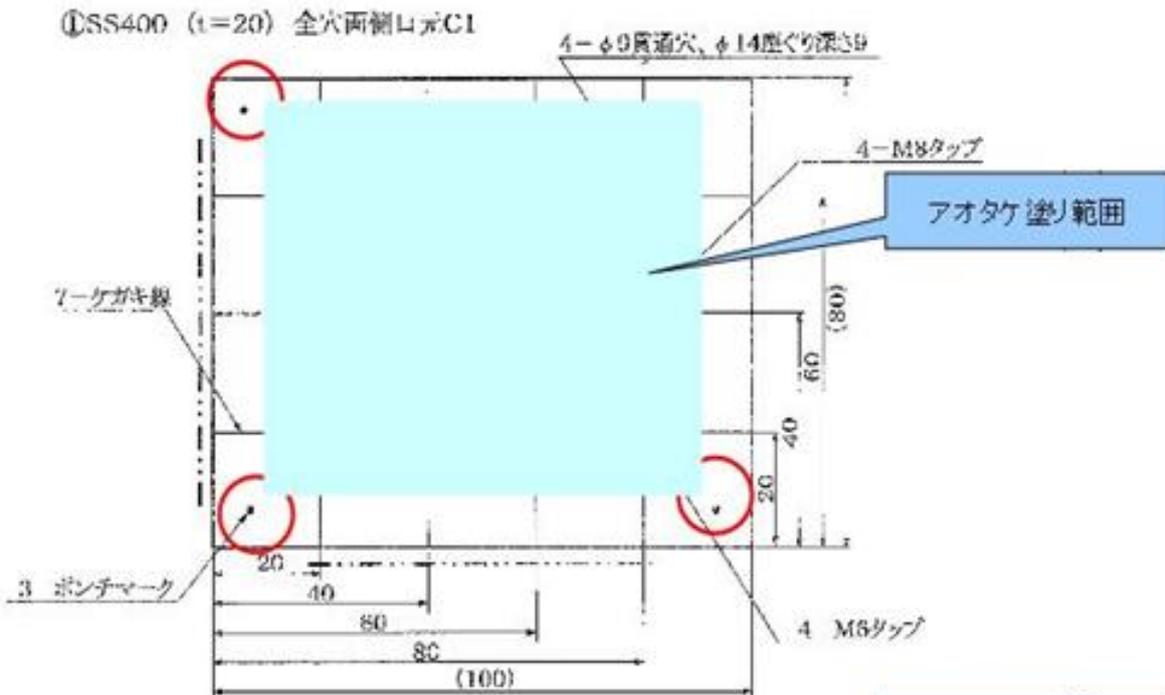
※ 指導する際はアオタケ容器のキャップを付けたまま説明すること。外すと垂らす原因になる。

- ① キャップは塗る直前に外すこと。
- ② キャップはネジタイプでなく差し込みタイプなので、ネジが締まる向きに捻りながら外すこと。
- ③ 緩め側に回すと、刷毛部が取れて液漏れが発生する。



鉄材・アルミ材のアオタケ塗り済み

(ボール盤実習) 課題図・塗布範囲



NOTE

- 1、----- は基準を示す
- 2、バリなきこと